フェアトレードの現実

G10 班
宮城県仙台第三高等学校

今回、国際的な諸問題の解決のための一助となっているフェアトレードについて探求を行った。フェアトレードは、原材料を安く買い取る大企業より立場の弱い生産者が対等に取引できるようにしたものでアメリカ、イギリス、スイスなど世界の多くの国々に広まっている。2016 年日本ではフェアトレードの市場は 113 億円に上ったが、世界（全体では約 9470 億円以上）の国々の数値にはまだ遠い。また、市場が大きくなっていても普段スーパーマーケットなどでフェアトレード商品を見かけことはほとんどないだろう。

１　背景（ＭＳゴシック 10pt）

2015 年に国連で SDGs というものが採択された。これ和持続可能な社会を目指して作られた 17 の目標である。この世界規模の取り組みを、もっと身近な観点から考えてみようと思い、フェアトレードという取り組みに注目した。これは文字通り公正な取引のことである。公正に取引されたフェアトレード商品には、チョコレートやコーヒー豆、サッカーボールなど多種多様なものがある。それらは私たちにみじかなスーパーやコンビニなどで売っていることも多いため、私たちにもできることが何かあるのではないかと考え、フェアトレードについて調べてみることにした。

２　材料と方法

図 1

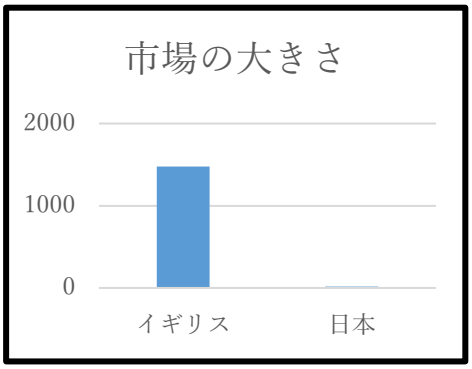


図 1 より、2010 年ではイギリスの市場は 1478 億円、日本はたったの 16 億円。イギリスは日本の 92 倍の市場を持っていたことがわかる。また、イギリス内にはフェアトレードスクール（フェアトレードを推進する学校として登録されたもの）が 1000 校以上ある。そこではフェアトレードについての授業などを実施する「フェア・アウェア」などの 3 つの条件をクリアする必要がある。

図 2

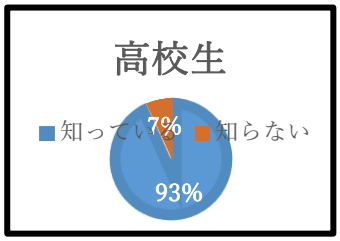


図 3

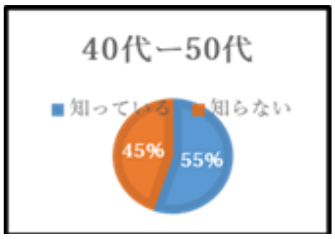
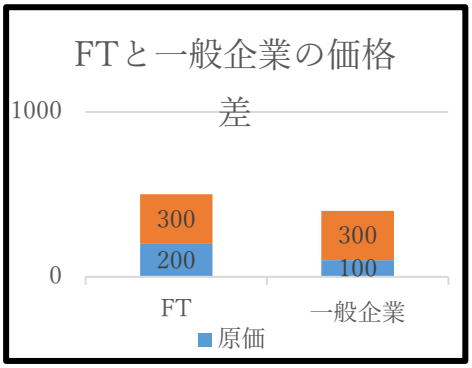


図 2 によると高校生の 93%がフェアトレードを認知している一方で、その親世代の 40 から 50 代は 55%しか認知していないことが分かった。今回行ったインスタグラムでのアンケートは母体数が 66 人と非常に少ないなか実施したためか偏りが大きく出てしまった。全国規模のアンケートによると 10 代が 61.5%、40 から 50 代が 55%であった。高校生にフェアトレードを知った経緯を尋ねたら、中学生の時の教科書である NEWHORIZON にフェアトレードについてのトピックがあり、そこで知ったという回答が多かっ

た。東京書籍によると、NEWHORIZEN の中のフェアトレードのトピックは平成 24 年度から取り入れているそうだ。

図 4



フェアトレード商品値段が高いというイメージがあるのだが、一般企業との価格差はどこで生じているのだろうか。フェアトレード商品も一般企業の商品も利益は同じである。しかし、生産者から買い取る原価が一般企業のほうが安いため、店頭に並ぶときの値段がフェアトレード商品に比べて安くなる。(図 4 参照)

3　結果と考察

以上の結果から、フェアトレードは本来なら当たり前に行わなければならない正しい貿易だということが分かった。フェアトレード市場を広げるためには、消費者に正しい情報を届け、なおかつ身近に感じてもらう必要があると考えた。日本でフェアトレード市場が拡大されない理由として、日本人にはフェアトレードが「当たり前」という考えよりも「奉仕」の考えのほうがあるため、継続的な支援につながらないこと、生産者と消費者が双方向ではないため消費問題を身近なこととして捉えることができないことを私たちの考察として挙げた。

そこで私たちは、改善策として「フェアトレードマップ」を作ることにした。フェアトレードマップには、仙台市内にあるフェアトレード商品を扱っているお店と連携を取り、店舗の紹介と扱っている商品の原産国の社会問題、日本における貧困問題を記載する。

これを作成する目的は二つある。一つ目は、地域のお店掲載することでより身近に社会問題を感じてもらうこと。そして二つ目は、消費者とのかかわりを通じて地域の活性化を図ることである。このフェアトレードマップによって遠い国の問題もより身近に、そして少しでも行動を起こしやすくするものとして効果を発揮するだろう。

また、フェアトレードマップ作成後、様々な年代から意見や感想を集め、それを分析する。これによって、価値観や受けてきた教育が違う世代に対応して、どのようにしたらより効果的に国際問題や地域問題を意識して生活してもらえるかも導き出せると考えた。

【参考文献】

・フェアトレードの拡大と深化（渡辺龍也）

https://repository.tku.ac.jp/dspace/bitstream/11150/391/1/genhou17-06.pdf

・フェアトレード・ラベル・ジャパンホームページ（2020.6.20 ）

https://www.fairtrade-jp.org/?gclid=EAIaIQobChMIy6mQ7vm36gIVU3RgCh1avwBnEAAYASAAEgIzkfD_BwE

・なぜ日本人はフェアトレードに関心が低いのか（2020. 6.28）

https://noc-cotton.org/noc-fairtrade/%E3%81%AA%E3%81%9C%E6%97%A5%E6%9C%AC%E4%BA%BA%E3%81%AF%E3%83%95%E3%82%A7%E3%82%A2%E3%83%88%E3%83%AC%E3%83%BC%E3%83%89%E3%81%AB%E9%96%A2%E5%BF%83%E3%81%8C%E4%BD%8E%E3%81%84%E3%81%AE%E3%81%8B%EF%BC%9F